

## 令和 5 年度「子どもの生活状況調査」【結果概要】

令和 6 年 1 月  
神奈川県

### 1 調査概要

#### (1) 目的

本調査は、神奈川県内全域の中学 2 年生とその保護者を対象に、子どもの貧困の実態と課題を把握し、県ごとも計画の策定と施策検討に活用することを目的に実施した。

#### (2) 調査内容

- ①保護者票：生活の状況、就労状況、心理的な状況、暮らし向き、主観的幸福感、アフターコロナの生活変化など
- ②中学 2 年生票：学習環境・習慣、進学希望、食事の頻度、主観的幸福感、アフターコロナの生活変化、ケアラー状況など

**(3) 対象者** 住民基本台帳から層化無作為抽出法により抽出した中学 2 年生とその保護者 4,320 組

**(4) 調査期間** 令和 5 年 8～9 月

#### (5) 回収結果

	配付件数	有効回答件数	有効回答率
保護者票	4,320 件	1,715 件	39.7%
中学 2 年生票	4,320 件	1,585 件	36.7%
うち、マッチング票※		1,547 組	35.8%

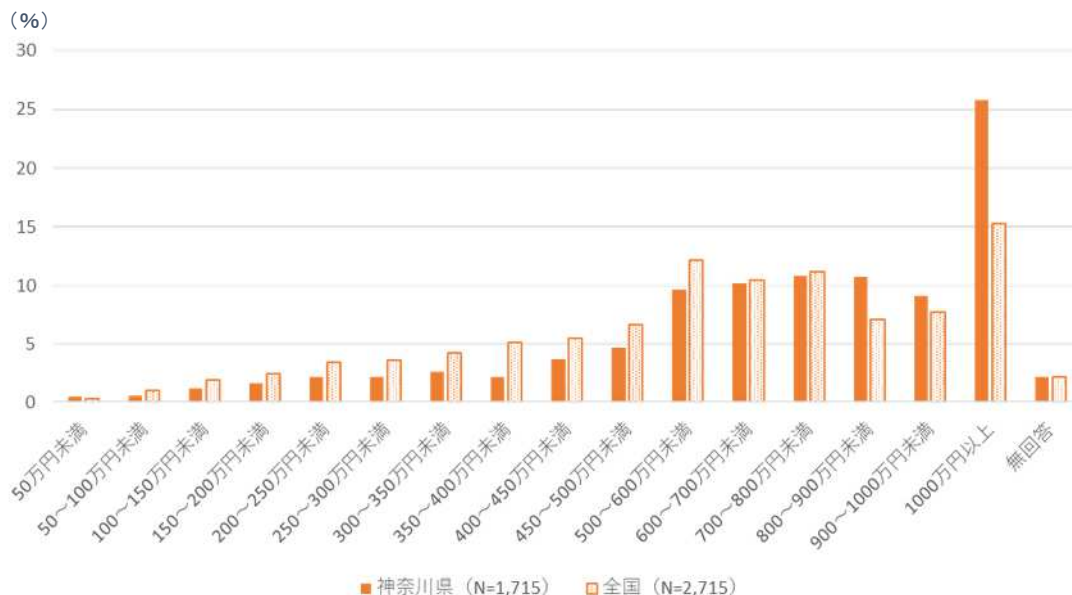
※マッチング票とは、中学 2 年生票と保護者票を ID で紐づけたものである。

### 2 調査結果

#### 2-1 世帯全体の年間収入、等価可処分所得（神奈川県全体の中央値：375 万円）

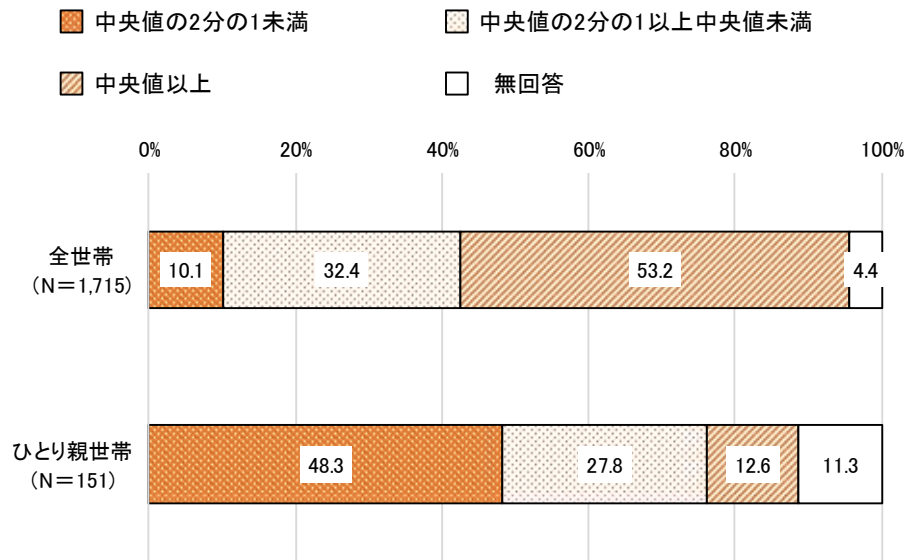
（保護者票 問 21）

・世帯全体の年間収入は「1000 万円以上」が 25.8%で最も高く、次いで「700 万～800 万円」と「800～900 万円」がともに約 11%。全国調査と比較すると、「1000 万円以上」では神奈川県が約 10 ポイント上回っている。

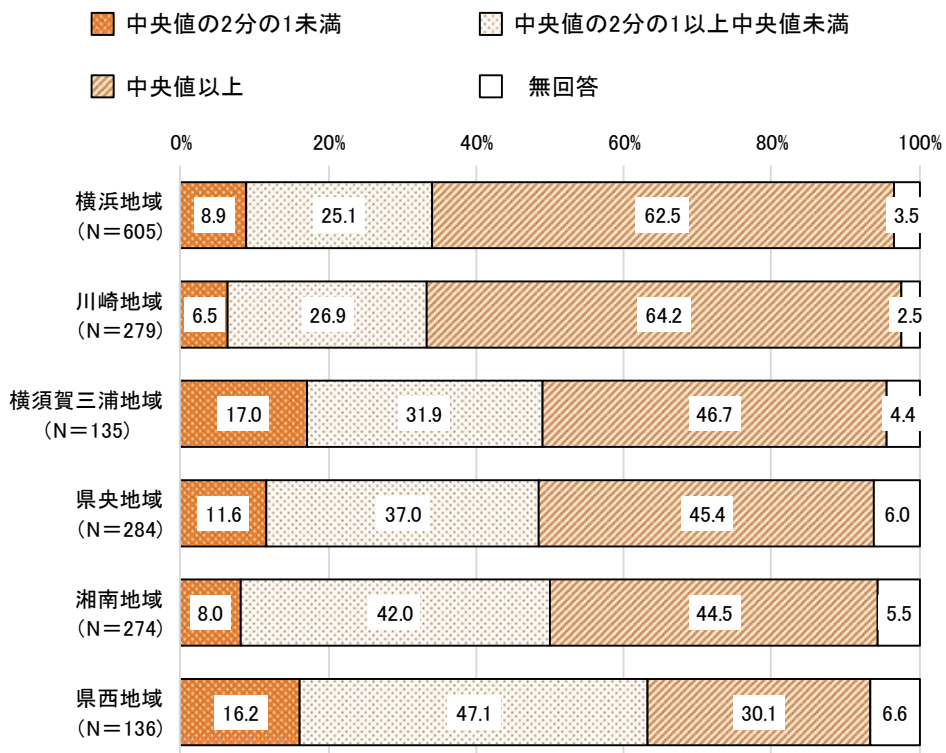


- ・等価可処分所得（神奈川県全体の中央値：375万円）の「中央値の2分の1未満」は全世帯で1割、ひとり親世帯で5割弱となっている。
- ・横浜地域、川崎地域、湘南地区は「中央値の2分の1未満」が1割弱となっている。

【全世帯】等価可処分所得（中央値：375.0）



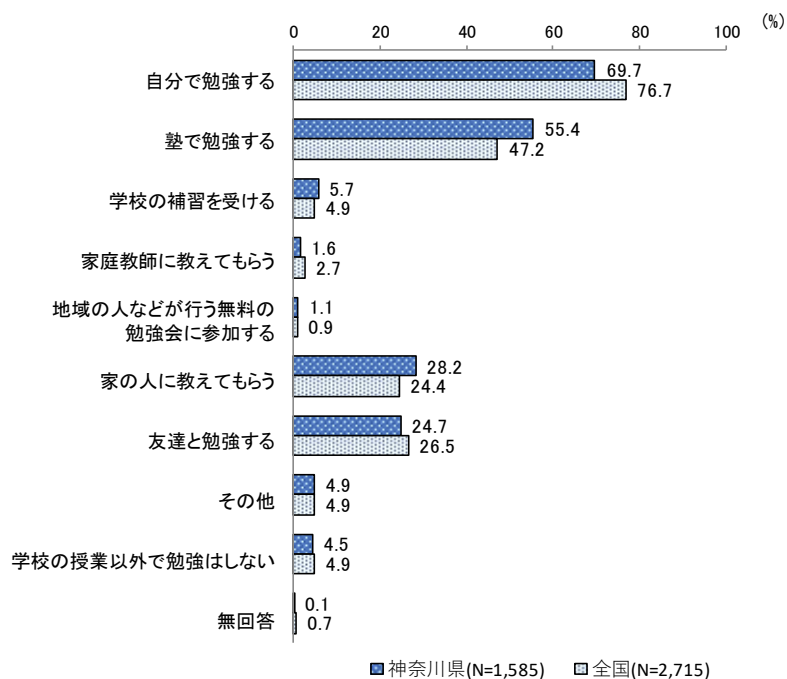
【地域別】等価可処分所得



## 2-2 学習状況 (中学生票 問2)

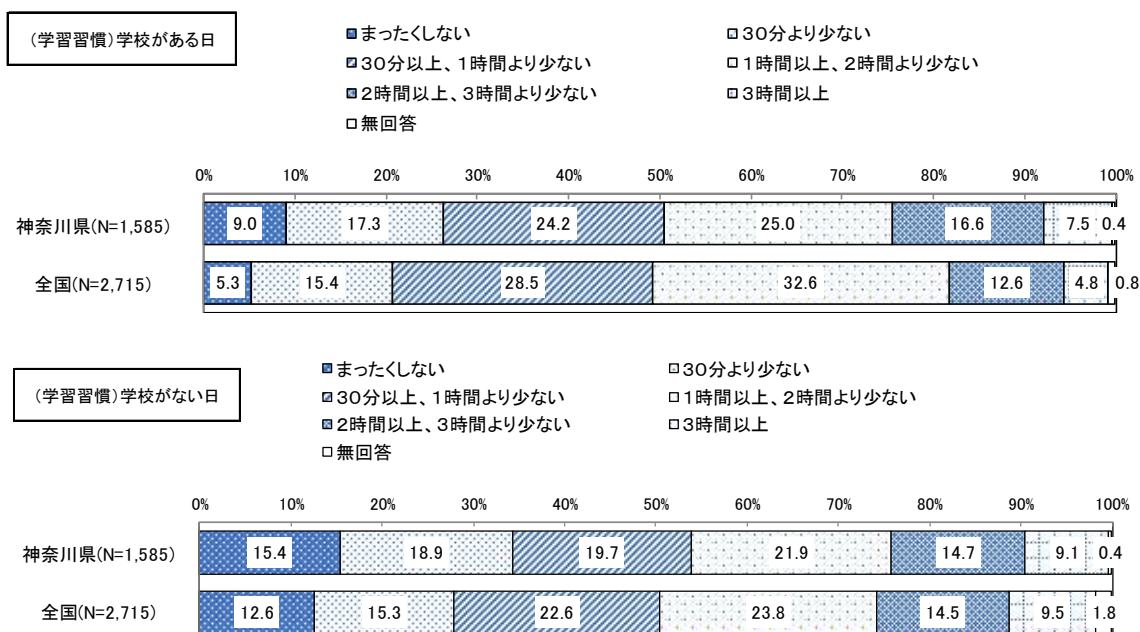
### 2-2-1 ▼ふだんの勉強の仕方

・ふだんの勉強の仕方は「自分で勉強する」が69.7%で最も高く、次いで「塾で勉強する」が55.4%、「家の人に教えてもらう」が28.2%となっている。全国調査と比較すると、「塾で勉強する」では神奈川県が約8ポイント上回る結果となっている。

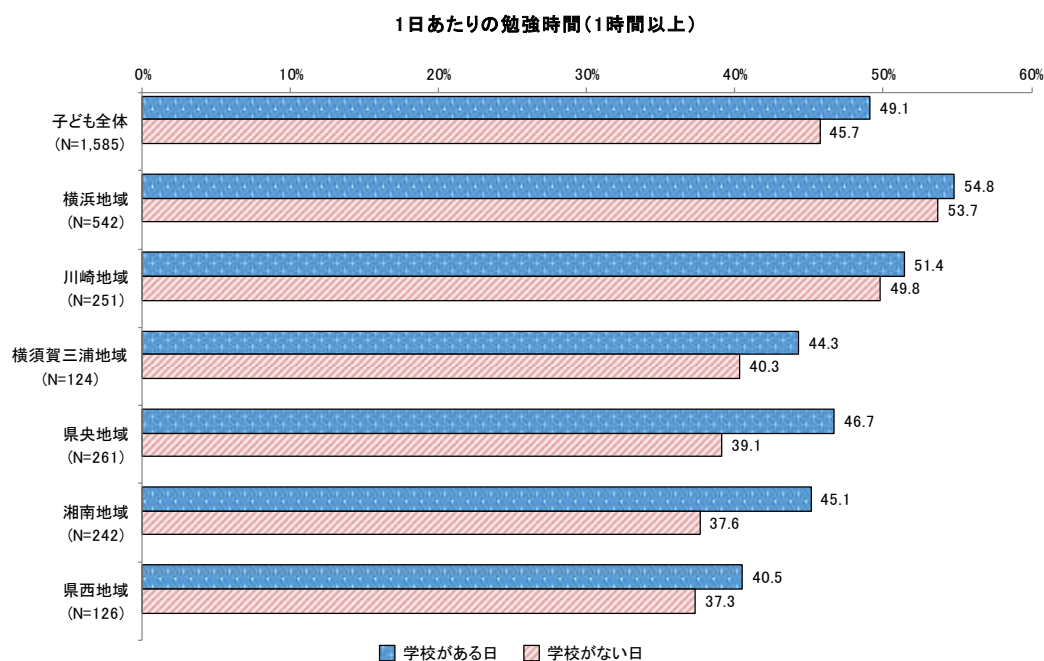


## 2-2-2▼1日あたりの勉強時間（中学生票 問3）

- ・学校がある日とない日ともに「1時間以上、2時間より少ない」がそれぞれ最も高くなっている。
- ・1時間以上の割合を全国調査と比較すると、学校がある日の神奈川県（49.1%）と全国調査（50.0%）は同程度となっている。また、学校がない日では神奈川県（45.7%）が全国調査（47.8%）を約2ポイント下回る結果となっている。



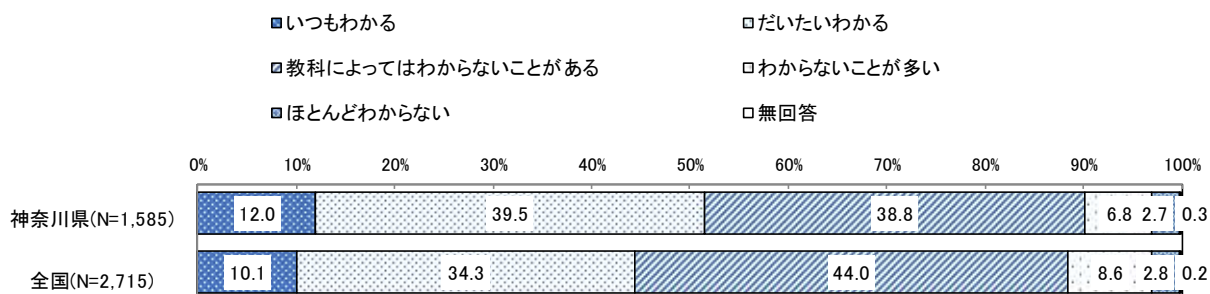
- ・1日あたりの勉強時間（1時間以上※）は、全体では1日あたりの勉強時間（1時間以上）は、学校がある日がない日を約3ポイント上回る。
- ・横浜地域では学校がある日とない日ともに、1日あたりの勉強時間が最も長い。



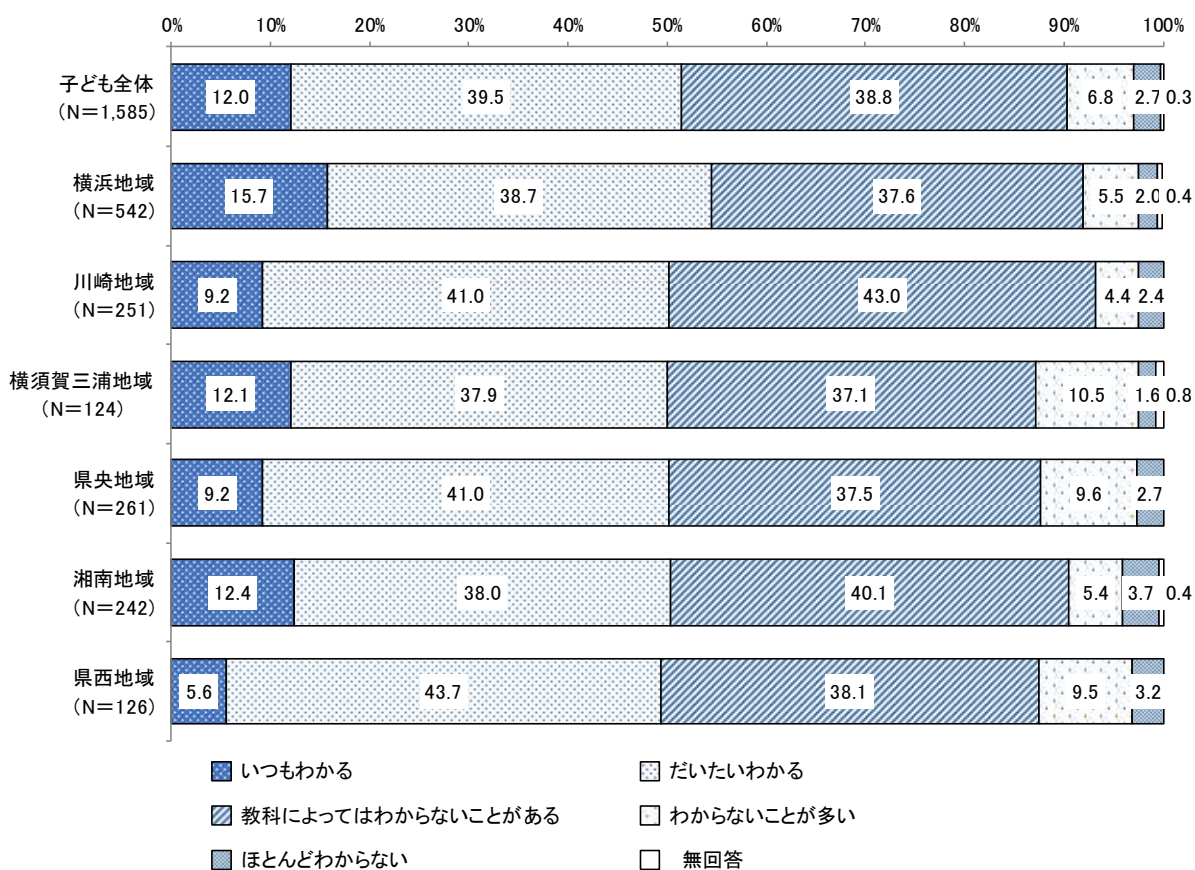
※1時間以上：「1時間以上、2時間より少ない」、「2時間以上、3時間より少ない」、「3時間以上」の合計

### 2-2-3▼授業の理解度 (中学生票 問5)

- ・授業の理解状況は「だいたいわかる」が39.5%で最も高く、次いで「教科によってはわからないことがある」が38.8%となっている。【わかる】(「いつもわかる」と「だいたいわかる」の合計)の割合を全国調査と比較すると、神奈川県(51.5%)が全国調査(44.4%)を約7ポイント上回る結果となっている。
- ・『わかる』の割合は横浜地域(54.4%)が最も高く、県西地域(49.3%)が最も低い。

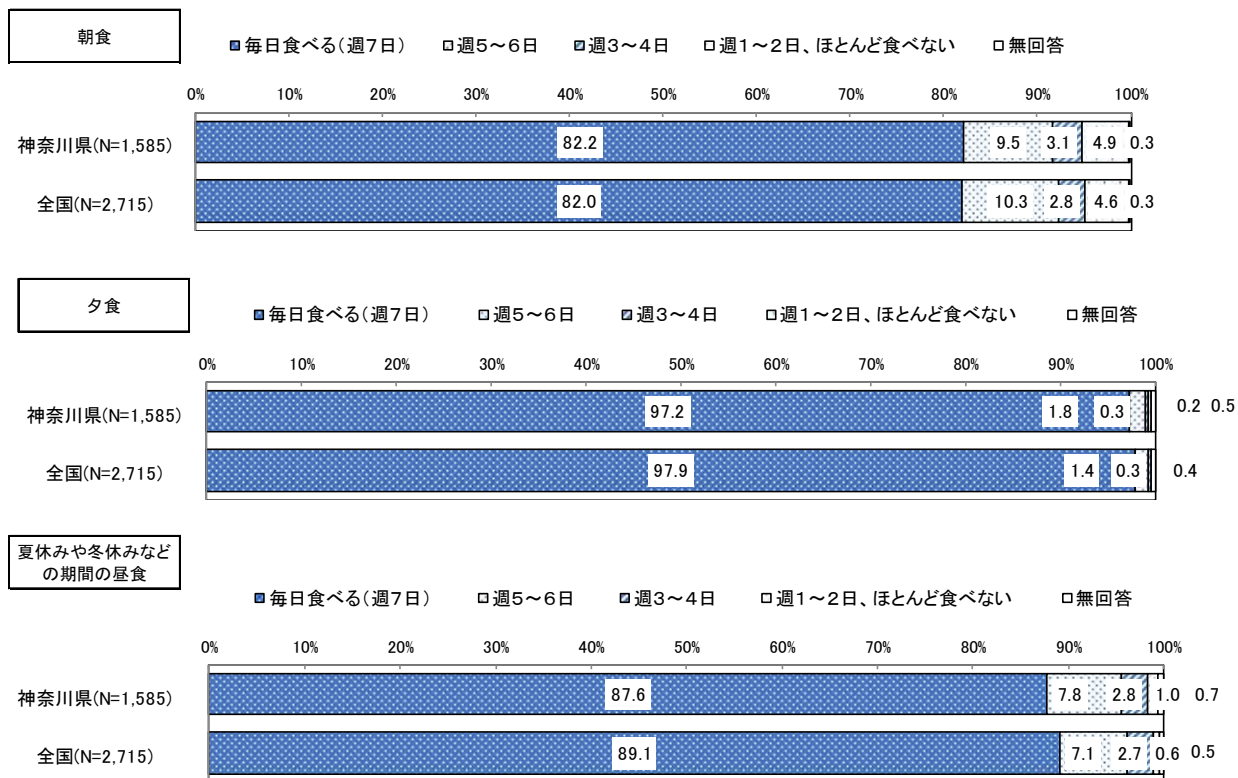


### 授業の理解度

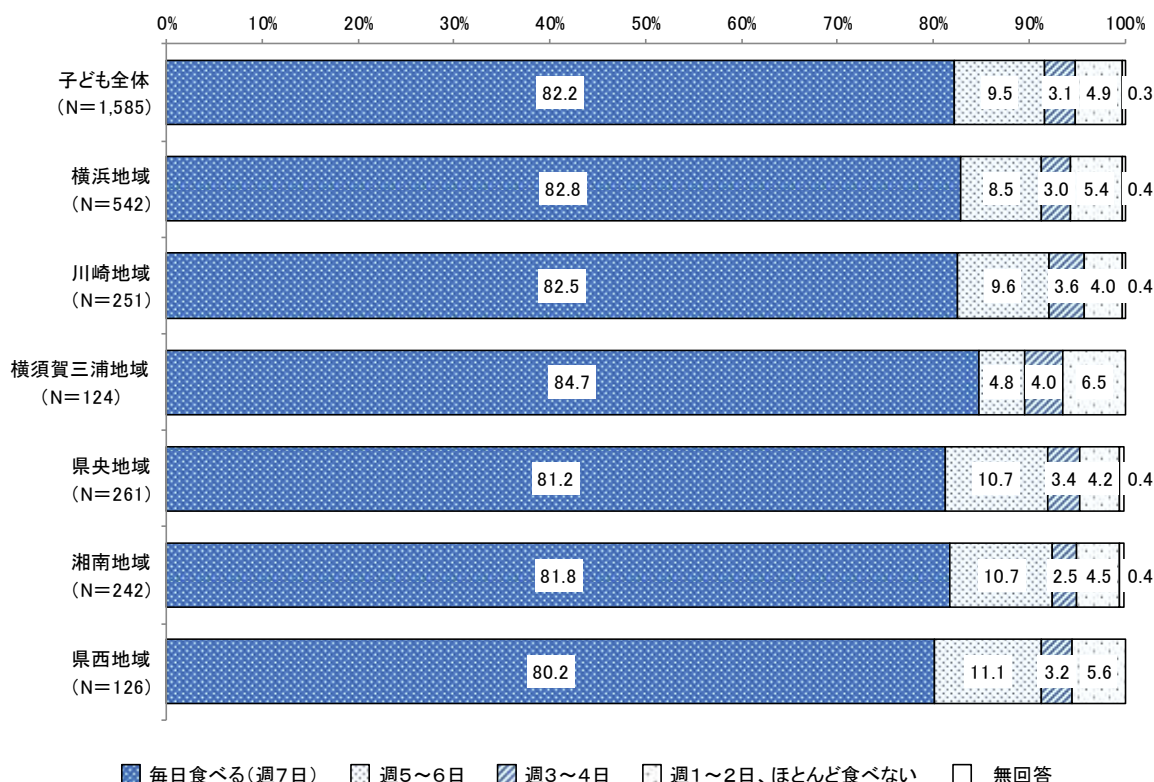


### 2-3 食事の状況 (中学生票 問 11)

- ・食事の状況について食事別にみると、「毎日食べる(週7日)」の割合は[夕食]が97.2%で最も高い。
- ・全国調査と比較すると、[夏休みや冬休みなどの期間の昼食]において、「毎日食べる(週7日)」の割合では神奈川県が約2ポイント下回っている。一方で[朝食]と[夕食]は同程度となっている。
- ・横須賀三浦地域では6.5%が「週1～2日、ほとんど食べない」と回答している。

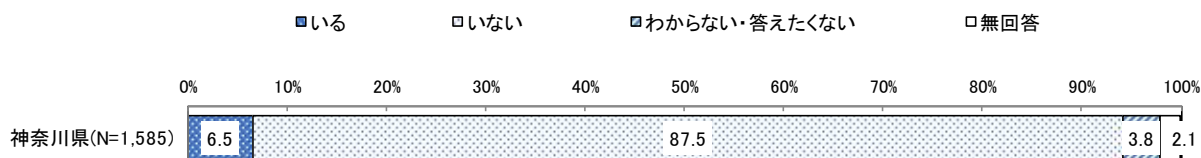


#### 朝食の喫食頻度

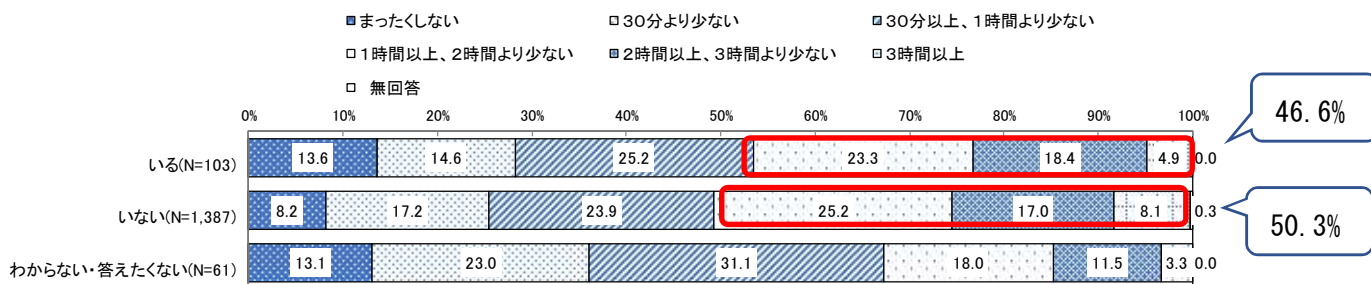


## 2-4 ヤングケアラー状況（中学生票 問 20）

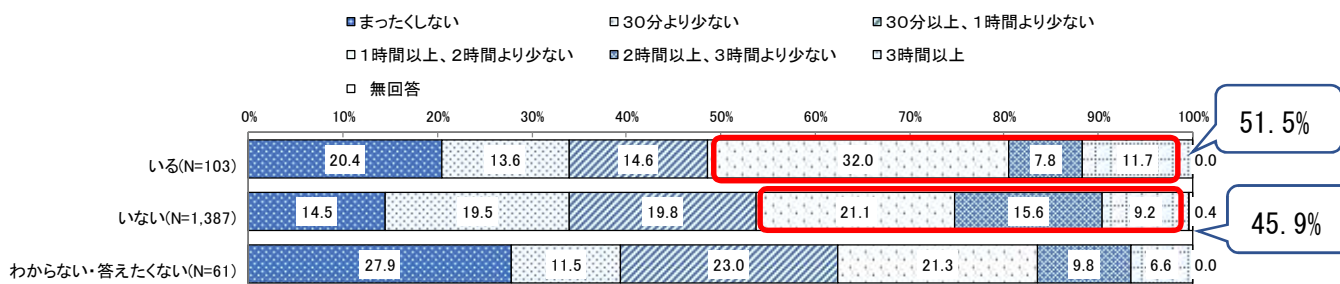
- ・ 家族の中で世話をしている人がいるかについては「いる」が6.5%
- ・ ケアラー状況別に1日あたりの勉強時間をみると、1時間以上の割合は学校がある日ではケアラー状況の子どもが46.6%、ケアラー状況ではない子どもが50.3%となり、ケアラー状況の子どもが約4ポイント下回る結果となっている。
- ・ 一方で学校がない日の1日あたりの勉強時間をみると、1時間以上の割合はケアラー状況の子どもが51.5%、ケアラー状況ではない子どもが45.9%と、ケアラー状況の子どもが約6ポイント上回る結果となっている。



### a. ケアラー状況 × 1日あたりの勉強時間（学校がある日）

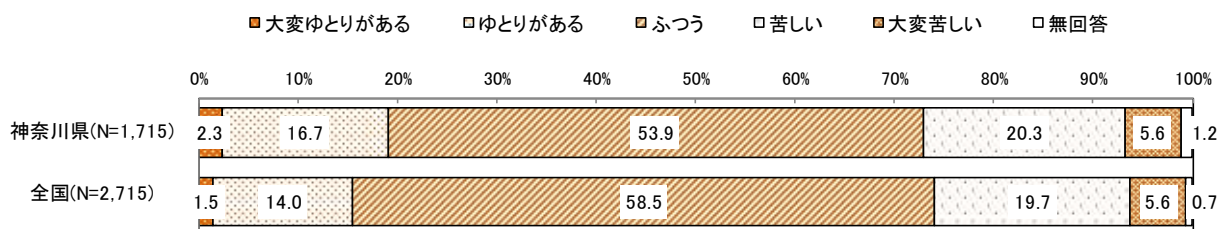


### b. ケアラー状況 × 1日あたりの勉強時間（学校がない日）

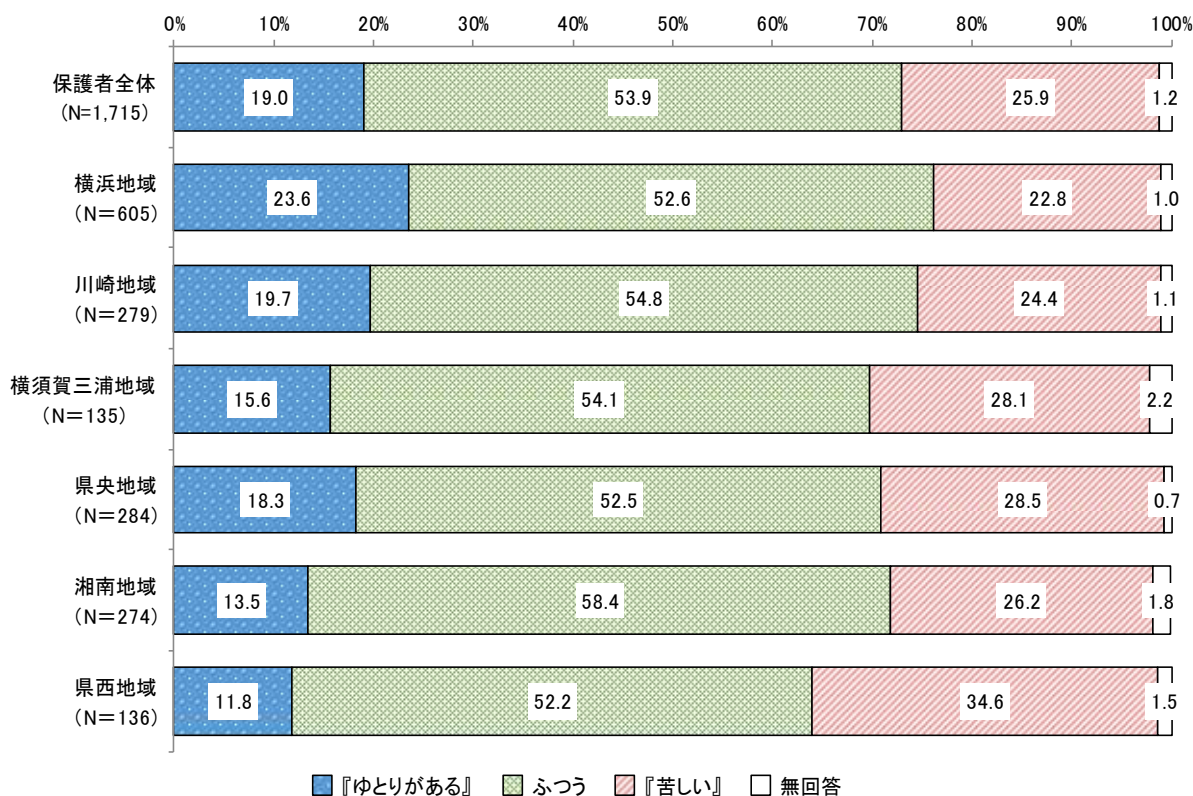


## 2-5 保護者の暮らし（保護者票 問 18）

- ・現在の暮らしの状況は「ふつう」が 53.9%、「苦しい」が 20.3%、「ゆとりがある」が 16.7%となっている。【ゆとりがある】（「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」の合計）の割合を全国調査と比較すると、神奈川県（19.0%）が全国調査（15.5%）を約 4 ポイント上回る結果となっている。
- ・県西地域では『苦しい』が 3 割を超えている。



### 暮らしの状況についての認識



※ 『ゆとりがある』：「大変ゆとりがある」と「ゆとりがある」の合計

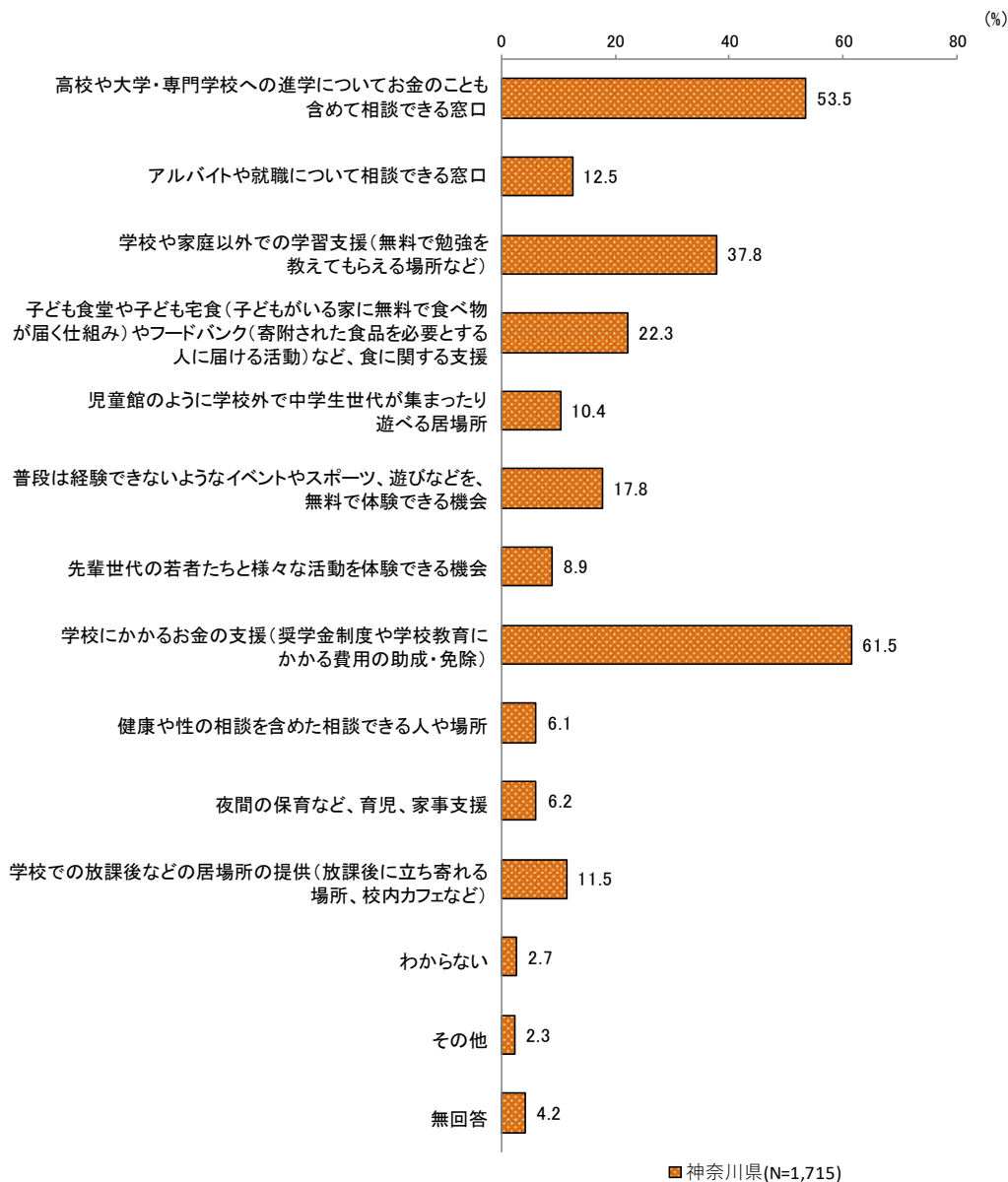
※ 『苦しい』：「大変苦しい」と「苦しい」の合計



## 2-6 希望する行政支援(保護者)

保護者票問 28 あなたやお子さんが困難な状況にあるときに、どのような支援が必要だと思いますか。(特に必要だと思うものを3つ選択してください。)(複数回答形式)

希望する行政支援は「学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の助成・免除)」が61.5%で最も高く、次いで「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」が53.5%、「学校や家庭以外での学習支援(無料で勉強を教えてもらえる場所など)」が37.8%となっている。

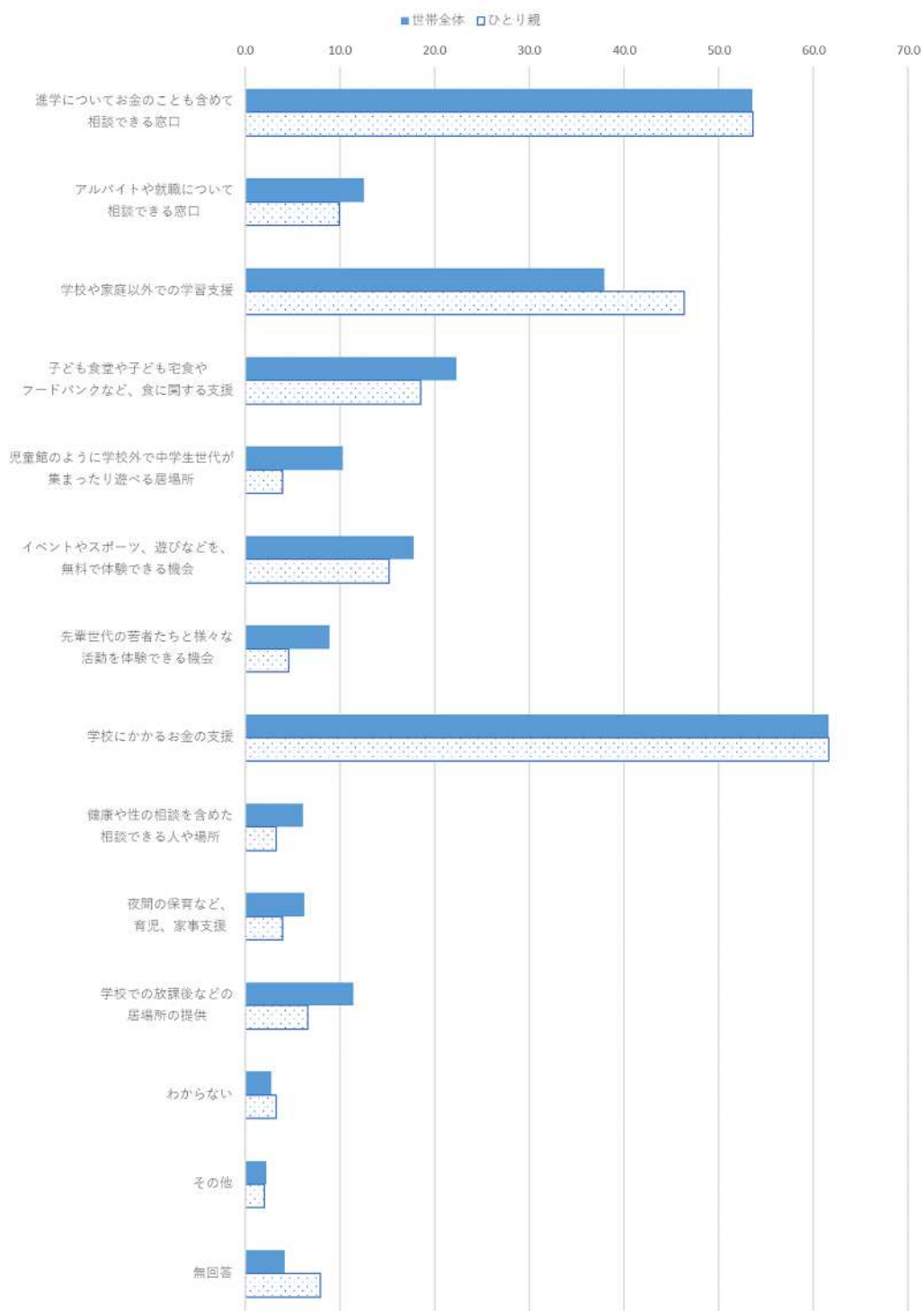


## 2-6-1希望の行政支援（保護者）（ひとり親）

希望する行政支援を世帯全体とひとり親世帯で比較した場合でも、「学校にかかるお金の支援」、「進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」の順で高くなっています。「学校や家庭以外での学習支援」では「ひとり親世帯」の割合が「世帯全体」よりも高くなっています。

(%)

	進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で中学生世代が集まったり遊べる居場所	イベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	夜間の保育など、育児、家事支援	学校での放課後などの居場所の提供	わからない	その他	無回答
世帯全体	53.6	12.6	37.9	22.3	10.3	17.8	8.9	61.6	6.1	6.3	11.4	2.7	2.3	4.1
ひとり親	53.6	9.9	46.4	18.5	4.0	15.2	4.6	61.6	3.3	4.0	6.6	3.3	2.0	7.9

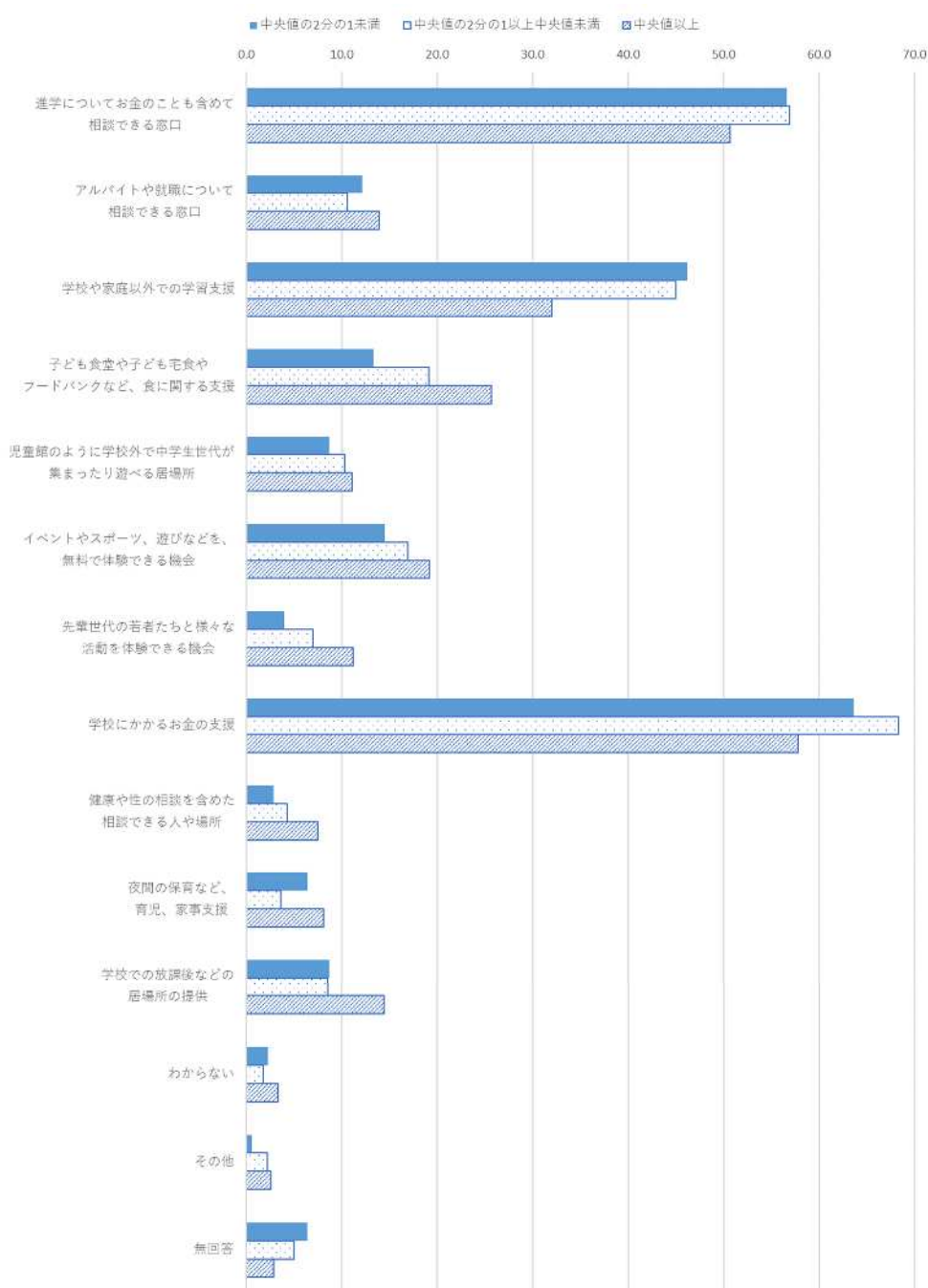


## 2-6-2 希望の行政支援（保護者）等価可処分所得

希望する行政支援を等価可処分所得で比較した場合、所得にかかわらず「学校にかかるお金の支援」、「進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」の順で割合が高くなっています。

(%)

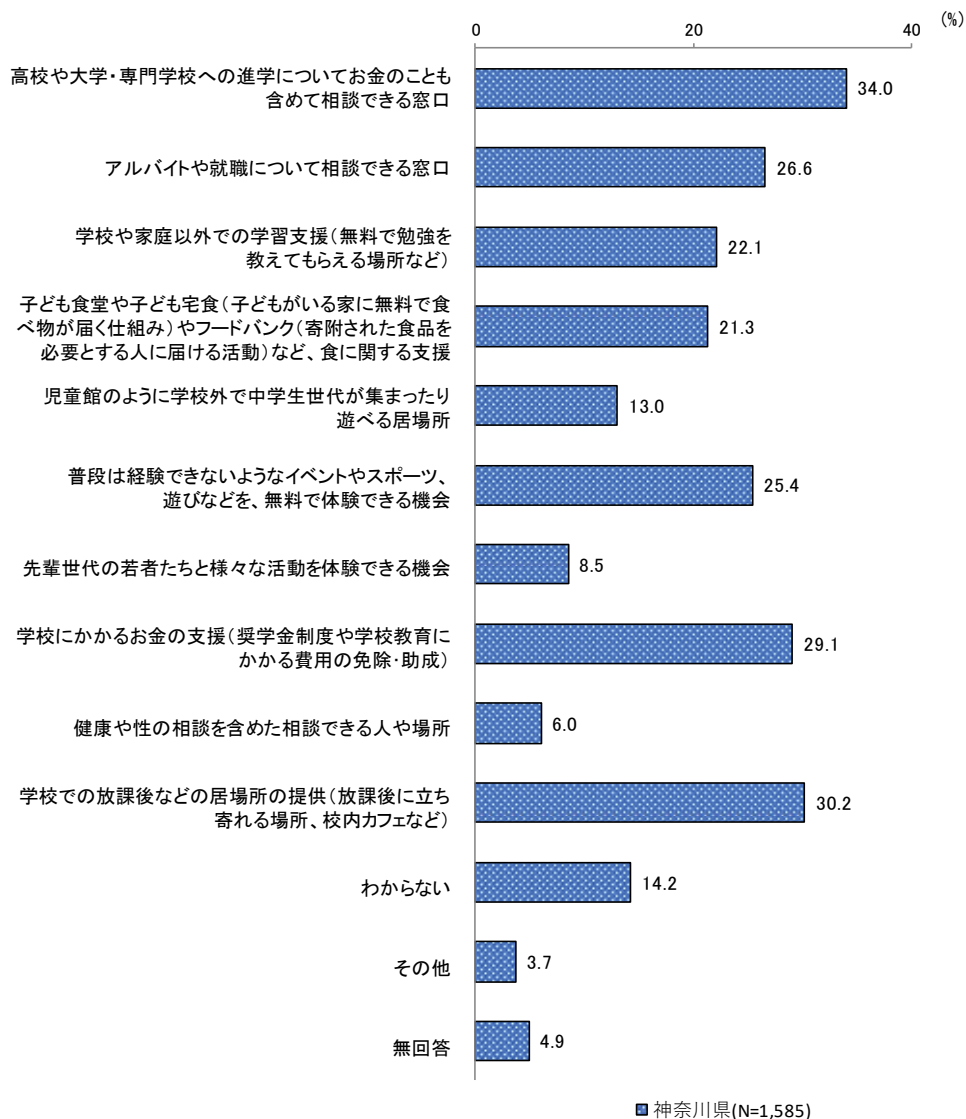
	進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で中学生世代が集まったり遊べる居場所	イベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	夜間の保育など、育児、家事支援	学校での放課後などの居場所の提供	わからない	その他	無回答
中央値の2分の1未満	56.6	12.1	46.2	13.3	8.7	14.5	4.0	63.6	2.9	6.4	8.7	2.3	0.6	6.4
中央値の2分の1以上 中央値未満	56.9	10.6	45.0	19.1	10.3	16.9	7.0	68.3	4.3	3.6	8.5	1.8	2.2	5.0
中央値以上	50.7	13.9	32.0	25.7	11.1	19.2	11.2	57.8	7.5	8.1	14.4	3.3	2.6	2.9



## 2-7 希望する行政支援(中学生)

中学生票問 21 あなたが困難な状況にあるときに、どのような支援があったらいいと思いますか。(特に必要だと思うものを3つ選択してください。)(複数回答形式)

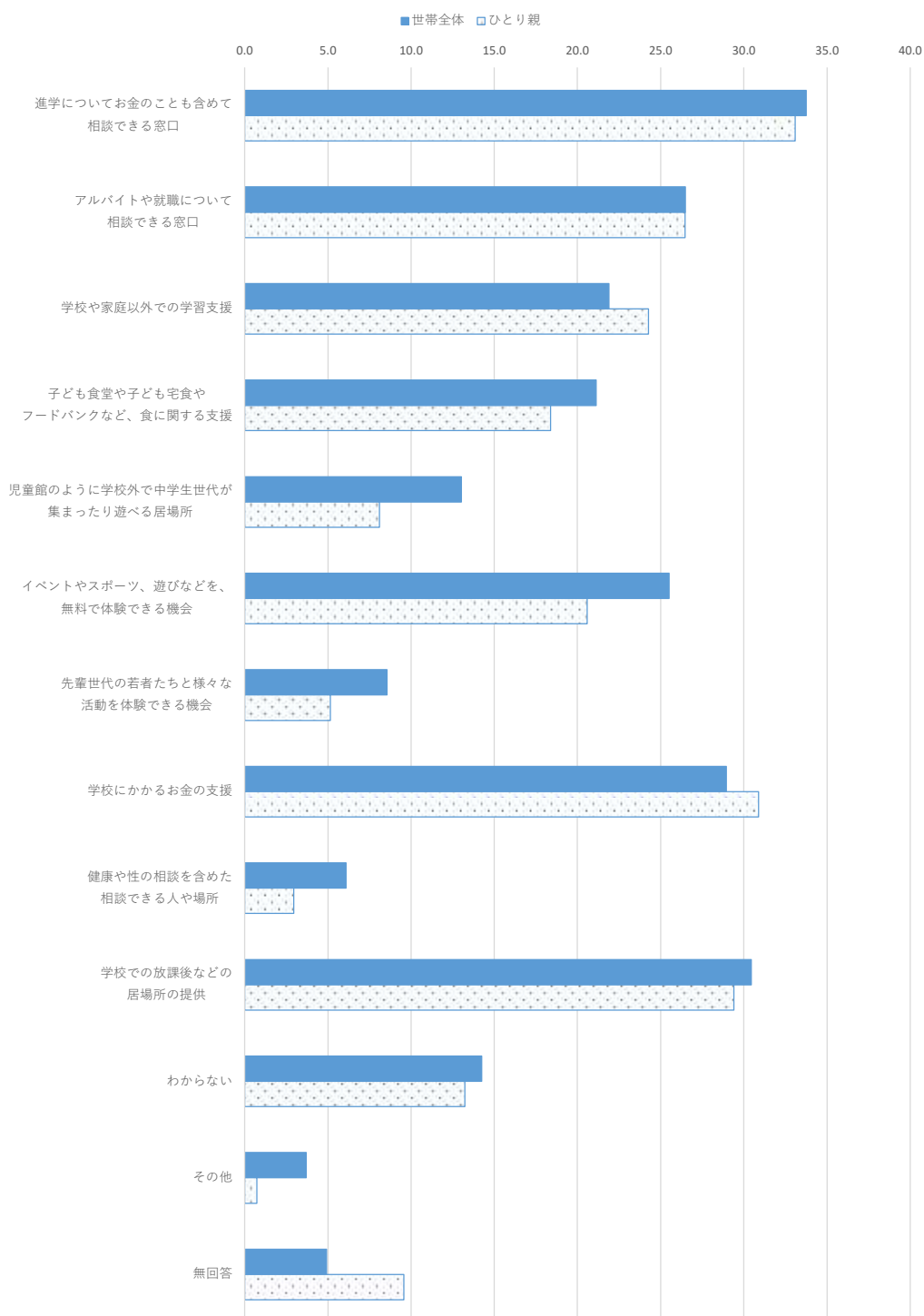
希望する行政支援は「高校や大学・専門学校への進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」が 34.0%で最も高く、次いで「学校での放課後などの居場所の提供(放課後に立ち寄れる場所、校内カフェなど)」が 30.2%、「学校にかかるお金の支援(奨学金制度や学校教育にかかる費用の免除・助成)」が 29.1%となっている。



## 2-7-1希望の行政支援（中学生）（ひとり親）

希望する行政支援を世帯全体とひとり親世帯で比較した場合、世帯全体では「進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」「学校での放課後などの居場所の提供」の順に高く、ひとり親世帯では「進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」「学校にかかるお金の支援」の順に高くなっています。

	進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で中学生世代が集まったり遊べる居場所	イベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	学校での放課後などの居場所の提供	わからない	その他	無回答
世帯全体	33.7	26.5	21.9	21.1	13.0	25.5	8.5	29.0	6.1	30.4	14.2	3.7	4.9
ひとり親	33.1	26.5	24.3	18.4	8.1	20.6	5.1	30.9	2.9	29.4	13.2	0.7	9.6



## 2-7-2希望の行政支援（中学生）等価可処分所得

希望する行政支援を等価可処分所得で比較した場合、「中央値の2分の1未満」では「学校にかかるお金の支援」、「進学についてお金のことも含めて相談できる窓口」の割合が最も高く、「中央値の2分の1以上中央値未満」「中央値以上」では「学校にかかるお金の支援」、次いで「学校での放課後などの居場所の提供」の順に高くなっています。

(%)

	進学についてお金のことも含めて相談できる窓口	アルバイトや就職について相談できる窓口	学校や家庭以外での学習支援	子ども食堂や子ども宅食やフードバンクなど、食に関する支援	児童館のように学校外で中学生世代が集まったり遊べる居場所	イベントやスポーツ、遊びなどを、無料で体験できる機会	先輩世代の若者たちと様々な活動を体験できる機会	学校にかかるお金の支援	健康や性の相談を含めた相談できる人や場所	学校での放課後などの居場所の提供	わからない	その他	無回答
中央値の2分の1未満	31.1	27.2	29.1	14.6	9.9	19.2	8.6	31.1	3.3	26.5	16.6	2.0	7.9
中央値の2分の1以上中央値未満	32.7	24.8	22.6	19.9	11.8	25.6	7.1	31.3	7.1	30.9	16.5	3.1	3.3
中央値以上	35.3	27.7	19.8	22.9	14.6	26.1	9.3	26.4	6.0	30.7	12.9	4.5	5.2

